事例No.	2812
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	よみたん民泊協力会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・地域運営組織

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

全国からメンソ～レ～ ！ いちゃりば家族(出会えば家族)
～教育民泊の受け入れを通した村づくりと心の交流～

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

ふるさとづくり大賞　団体表彰



全国からメンソ～レ～！いちゃりば家族（出会えば家族）
～教育民泊の受け入れを通した村づくりと心の交流～

よみたん民泊協力会（みんぱくきょうりょくかい）

DATA

事　例　名：全国からメンソ～レ～！いちゃりば家族（出会えば家族）
～教育民泊の受け入れを通した村づくりと心の交流～
よみたん民泊協力会
所　在　地：沖縄県読谷村字高志保1046番地
連　絡　先：TEL 098-958-1130
FAX 098-958-1194
直通番号 090-3792-6010（担当:大城）
ホームページ：https://sks.okinawa.jp/index.php/service/churamura/education/

取り組みの概要

よみたん教育民泊事業は、2006年に地元の観光事業者（有限会社沖縄スカイ観光サービス）の地域振興と交流型観光事業としてスタートした。2008年には受け入れ人数が大幅に増加したことを背景に、読谷村・読谷村観光協会推進の下、よみたん民泊協力会が設立した。協力会の主な活動は安心安全の充実した受け入れ体制づくり、受け入れ先としての心得について学ぶ講習会などを企画し、自らを高めサポートし合う組織として活動している。

評価された点

●教育民泊という切り口から地域活性化に取り組んでいる。民泊が村民全体活動の中心に位置づけられ、未来を担う国内外の学生が学び、結果的に地産地消も進むなど、「三方よし」の取り組みに仕上がっている。このような目的意識やターゲットを絞り込んで、そこから地域独自の活性化策を考えていくことは他地域の参考になる。

●地域内100世帯の民家の協力により民泊事業を展開している点を評価。

●修学旅行の受け入れなどを完全民間主導及び独自資金で行っている。コロナ禍前で年間15,000人を受け入れ、行政や他団体とも良い関係を築きながら自走している点を評価。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ　**2006年～**
・地元の観光事業社である沖縄スカイ観光サービスが交流型観光事業としてスタート。

・沖縄らしい着地型観光の可能性を民泊に見出す。

2008年10月～

よみたん民泊協力会の設立
・受入れ人数の増加に伴い、読谷村における充実した受け入れ態勢の強化を目的として民家による民家の為の組織が設立。
・地元の祭りで地域物産などを販売し、売り上げた20万円を最初の設立資金とした。

・順調に実績を出し始めたが、安心安全な民泊を実施する為の受け入れ側の体制強化が課題だった。

2009年10月～

会員数及び受け入れ人数が大幅に伸びる
・初めて1,000名を超える1,309名の受け入れ成功。
・2017年には約100世帯の民家と共に年間18,423名の受け入れまで成長する。




・入村式や離村式会場として役場の利用、村三役からのご挨拶など。

2010年～

研修会や講習会の企画がスタート
・応急手当講習会。
・消火器訓練。
・料理講習会。
・地域学習研修会。




・危機をチャンスに変える発想で新しい取り組みに挑戦。

2020年～

新型コロナウイルスの大流行により観光がストップ
・オンラインを活用した海外交流プログラムの実施。
・地元若者達との文化交流イベントの実施。
・共同で農地を利用して、農業体験を充実化。




・コロナからの復活へ。

2022年～

活力ある地域づくり復活へ! 受け入れ再開
・受け入れた中学校へサプライズ逆訪問!
・2年ぶり新年会開催。
・新規民家の募集で1年後には改めて80世帯まで増やしていく。



今後の展望
・研修会や講習会などの回数を増やし、新規民家募集や会員活動を充実化させる。
・次の世代へ民泊交流事業を継承していきます。

受賞者のコメント

コロナ禍後、2023年春からようやく教育民泊も賑わいを取り戻し始め、再生への一歩を踏み出した中「ふるさとづくり大賞」を表彰されることは、教育民泊の復活に向けて「誇り」と「自信」を取り戻し、改めて我々の活動を評価して頂いたと、大変光栄に存じます。読谷村をはじめ関わる人々とこの喜びを共にして、これからも全国の若者たちと沢山の笑顔と思い出づくりをしながら、「学びある教育民泊」の向上に尽力して参ります。